

■ 2004年12月5日(日曜日)

# 福井を元気にする 北陸新幹線 みんなの力で走らせよう!



関東、北陸、関西を結ぶ北陸新幹線は、東京・長野間が既に開業し、現在、長野・富山間、石動(いするぎ)・金沢間の工事が進められており、一日も早い県内着工が待たれるところです。

このため、これまで、県をはじめ、県議会や経済界、沿線市町村、県民の皆さんなど県全体が一丸となって、県内着工の実現に向け、政府・与党の幹部などに強く働きかけてきました。

こうした中、今年6月、福井駅周辺での認可・着工などを内容とする与党案が政府に提出され、現在、その取扱いについて、政府・与党間で最終的な検討が進められています。

年末の政府・与党申合せにおいて長年の悲願である北陸新幹線の県内着工が必ず実現するよう、今こそ、県民の皆さんが力を結集し、本県の熱意と要望を強力にアピールしましょう。

## 災害時などに重要な役割を果たす代替補完機能

- 北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や災害時など東海道新幹線の機能が停止した場合の代替補完機能を有する重要な国家的プロジェクトであり、国家的見地から整備促進が図られるべき路線です。
- 特に今年も、全国各地において台風や豪雨、さらには新潟県中越地震などの災害が発生しており、今後、東海地震や東南海・南海地震など大規模地震の発生も危惧される中、東海道新幹線の代替補完機能を担う北陸新幹線の整備は急務です。

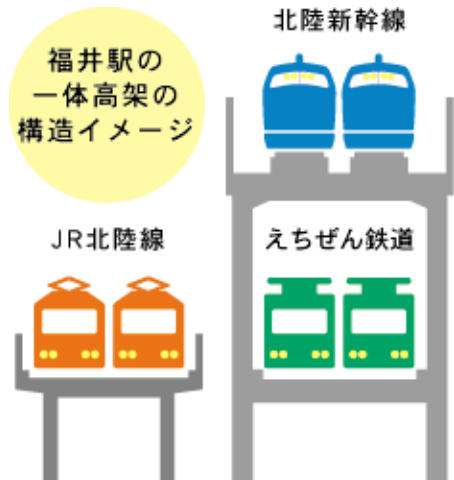


※図をクリックすると拡大表示します。



## え ちぜん鉄道との一体高架による工事費の縮減

- 福井駅周辺では、2階がえちぜん鉄道、3階が新幹線という構造で計画されています。えちぜん鉄道の高架化は来年春のJR高架切替後、速やかに事業に着手する予定です。
- 国土交通省では、北陸新幹線をえちぜん鉄道の高架化と一体的に工事することで工事費の大幅な縮減が可能としており、今がまさに着工の時期です。何としても福井駅部周辺の認可・着工を実現することが必要と考えます。



整備が進められるJR在来線福井駅  
来年4月18日にはJR在来線の高架切替が予定されています



## 県 内着工の実現に向けた要望活動の展開

11月18日には、北陸新幹線建設促進同盟会、北信越五県議会協議会、北陸経済連合会が一体となって、また、30日には、整備新幹線関係18都道府県が連携して、政府・与党関係者や関係省庁に対し、北陸新幹線の福井県内着工の実現などを強かに訴えました。

さらに、12月1日には、知事および県議会、県経済団体連合会、沿線各市の代表者などが合同で、「福井駅部周辺の認可・着工」や「南越・敦賀間の早期認可申請」などを盛り込んだ与党案が必ず実現するよう、本県の熱意と要望を重ねて訴えました。



久間自由民主党総務会長



小里自由民主党整備新幹線等鉄道基本問題調査会長

【 11月18日 北陸地域の一致した要望として北陸新幹線の早期整備を訴えました 】



森自由民主党北陸新幹線建設促進議員連盟会長



武部自由民主党幹事長

【12月1日 県議会、経済界、沿線各市と一体となって北陸新幹線の県内着工の実現を要請しました】

## 本県の主な要請項目

- 南越までの工事実施計画の一括認可およびフル規格による早期整備を図ること。特に、えちぜん鉄道の高架化と一体的に工事を行うことが効率的な福井駅部周辺について、平成17年度初に認可・着工し、早期整備を図ること。
- 南越・敦賀間について、直ちに工事実施計画の認可申請を行うこと。

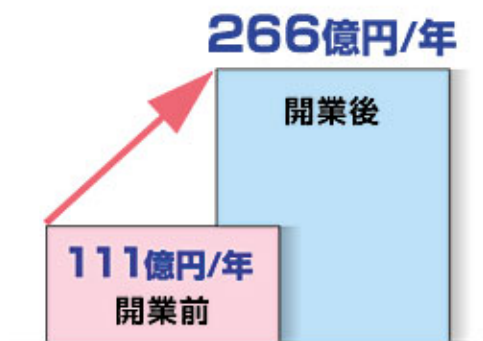
## 新幹線の整理効果 青森や鹿児島では大きな経済波及効果

平成14年12月1日に東北新幹線盛岡・八戸間が開業した青森県や、平成16年3月13日に九州新幹線新八代・鹿児島中央間が開業した鹿児島県では、大きな経済波及効果が見られます。



### 鉄道利用者の観光消費額が 2.4 倍に増加

(観光消費額)



旧在来線特急「はつかり」、新幹線「はやて」(盛岡・八戸間)の1日当たりの乗客数と、1人1旅行当たりの観光消費額とを用いて国土交通省が推計



### 入り込み客増加等による県内経済波及効果に対し、ストロー効果はわずか

#### ストロー効果

新幹線や高速道路などの交通網の整備によって、地方の人や物資が都会に吸い取られる悪い影響のこと



開業後3カ月間の  
県内経済波及効果

45.6億円



ストロウ効果

13.1億円

鹿児島地域経済研究所による試算

政府・与党ワーキンググループ資料から

この記事に関するお問い合わせは、[県総合交通課新幹線対策室](#) TEL0776(20)0292 までどうぞ。

 **BACK**